

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公開番号】特開 2019-180752 (P2019-180752A)

【公開日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-043

【出願番号】特願 2018-74660 (P2018-74660)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 2 日 (2021.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

第 1 操作が可能な第 1 操作手段と、

第 2 操作が可能な第 2 操作手段と、

制御を行う制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記第 1 操作がされたことを判定可能であるとともに、前記第 2 操作がされたことを判定可能である操作判定手段と、

前記第 1 操作がされたことが判定されたときに第 1 制御を行う第 1 制御手段と、

前記第 2 操作がされたことが判定されたときに第 2 制御を行う第 2 制御手段と、を含み

前記操作判定手段は、

前記第 1 操作がされたときに内容が変化するとともに前記第 2 操作がされたときにも内容が変化する入力データと、前記第 1 操作がされても無効とする第 1 条件の成立状況および前記第 2 操作がされても無効とする第 2 条件の成立状況とに基づいて、前記第 1 操作と前記第 2 操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることを判定する第 1 判定手段と、

前記第 1 判定手段により前記第 1 操作と前記第 2 操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることが判定されたときに、前記第 1 操作と前記第 2 操作のいずれの操作がされているかを判定する第 2 判定手段と、を含み、

前記制御手段は、

メイン処理と、該メイン処理に所定時間毎に割り込んで実行されるタイマ割り込み処理と、を実行可能であり、

前記タイマ割り込み処理において、前記入力データを更新し、

前記メイン処理において、前記タイマ割り込み処理が実行された否かを判定する割り込み待ち処理を実行し、

前記操作判定手段は、前記割り込み待ち処理において前記タイマ割り込み処理が実行されたと判定されたときに、前記入力データにもとづく判定を行う、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(A) 遊技を行うことが可能な遊技機であって、

第1操作が可能な第1操作手段と、

第2操作が可能な第2操作手段と、

制御を行う制御手段と、を備え、

前記制御手段は、

前記第1操作がされたことを判定可能であるとともに、前記第2操作がされたことを判定可能である操作判定手段と、

前記第1操作がされたことが判定されたときに第1制御を行う第1制御手段と、

前記第2操作がされたことが判定されたときに第2制御を行う第2制御手段と、を含み

、

前記操作判定手段は、

前記第1操作がされたときに内容が変化するとともに前記第2操作がされたときにも内容が変化する入力データと、前記第1操作がされても無効とする第1条件の成立状況および前記第2操作がされても無効とする第2条件の成立状況とに基づいて、前記第1操作と前記第2操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることを判定する第1判定手段と

、

前記第1判定手段により前記第1操作と前記第2操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることが判定されたときに、前記第1操作と前記第2操作のいずれの操作がされているかを判定する第2判定手段と、を含み、

前記制御手段は、

メイン処理と、該メイン処理に所定時間毎に割り込んで実行されるタイマ割り込み処理と、を実行可能であり、

前記タイマ割り込み処理において、前記入力データを更新し、

前記メイン処理において、前記タイマ割り込み処理が実行された否かを判定する割り込み待ち処理を実行し、

前記操作判定手段は、前記割り込み待ち処理において前記タイマ割り込み処理が実行されたと判定されたときに、前記入力データにもとづく判定を行う。

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機（たとえば、スロットマシン1）であって、

第1操作（たとえば、スタートスイッチ7への操作）がされたことを判定可能であるとともに、第2操作（たとえば、ベットスイッチ6への操作）がされたことを判定可能である操作判定手段と、

前記第1操作がされたことが判定されたときに第1制御（たとえば、図3および図4のSd2の内部抽選処理）を行う第1制御手段と、

前記第2操作がされたことが判定されたときに第2制御（たとえば、図4のS36のベット処理）を行う第2制御手段とを備え、

前記操作判定手段は、

前記第1操作がされたときに内容が変化するとともに前記第2操作がされたときにも内容が変化する入力データ（たとえば、図5の入力バッファデータ）と、前記第1操作がされても無効とする第1条件の成立状況および前記第2操作がされても無効とする第2条件の成立状況（たとえば、図5の判定データ）とに基づいて、前記第1操作と前記第2操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることを判定する第1判定手段と、

前記第1判定手段により前記第1操作と前記第2操作とのうち少なくとも一方の操作がされていることが判定されたときに、前記第1操作と前記第2操作のいずれの操作がされているかを判定する（たとえば、S102に示すように、ベットスイッチ6の操作およびスタートスイッチ7の操作のうちいずれの操作であるのかを判定する）第2判定手段とを

含む。